

# えべつの未来づくりミーティング

～ 市内4大学の在学生の皆さん編 ～

令和4年5月21日（土） 市民交流施設「ぷらっと」

午前10時～午後0時15分

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

・大学生が多く、大学生が江別市役所の方や地域の方と関わる機会も多いことが魅力だと思う。一方、大学生の多くは、市外に就職してしまう。若いうちは都会へ行きたいと思うかもしれないが、大学卒業後、江別市で住み続ける人が増えると、もっと江別市の活気があふれてくるのではないかと思う。



・住みやすいことが強みだと思う。アルバイトで地域の人たちと関わると、江別市は住みやすく、マイホームを建てる場所として適しているという声を聞く。また、大学連携の授業もあることも強み。一方、大学生が多い地域では、高齢の方と生活リズムが違うので、もしかしたら、近隣住民に迷惑をかけているかもしれないと不安に思ってしまう。



・学生が多いことや、交通アクセスが良いことが強みだと思う。弱みは、排雪がうまくされていないこと。大雪の時、親の運転で車で外出した際、道幅が狭すぎてぶつかるのでないかと心配だった。

・大学が集まっていて、相互に交流しやすいことと、野幌森林公園など身近に自然があることが強み。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により大学相互の交流が少なくなったことは残念だった。ただ、友人の中には、交流することに関心がなかったり、交流の場があっても知らない学生も多く、もったいないと思う。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで積み重ねてきたものが白紙になってしまっていると感じる。

・強みは、住み心地が良く、不自由を感じないこと。JR大麻駅の周辺に住んでいるが、スーパーマーケットもあり、普段必要なものが近くにある。弱みは、外から見た時に魅力が少ないこと。EBRI(エブリ)や江別蔦屋書店は、住んでいる者としてはとても魅力のある建物だと思うが、市外の方が立ち寄り場所として選ぶことは少ないのではないかと思う。

・大学生が多いので、文京台地区は活性化されていて良いと思っている。小学生の時、社会見学でレンガ工場やブロッコリー畑などを見学したことを覚えており、江別市を知る機会があって良かったと感じている。しかし、大学が大麻・野幌地区に集まっているため、大学生にとっては新札幌の方が近く、江別地区まで行くことが少ないことが残念。また、江別蔦屋書店はあるものの、大麻・野幌地区から江別地区につながる大きな道が限られていて行きづらい。道の駅がないことも残念。国道12号沿線以外は、あまりにぎわいを感じない。また、冬、除雪された後に大きな雪の塊が歩道にあって、通るのが大変だと思った。



・普段、自家用車を利用しているが、住みやすいと感じている。国道12号沿線には、店が多くあり、大学生が多いので活気がある。車で市内を回るといろいろな楽しいところがある。弱みは、大学生が卒業後、江別市に住む人が少ないこと。住むまちとしては良いが、観光地と考えると、国道12号沿線以外は印象が薄いのではないだろうか。魅力的な店を知る機会があれば良いと思う。また、除雪体制を改

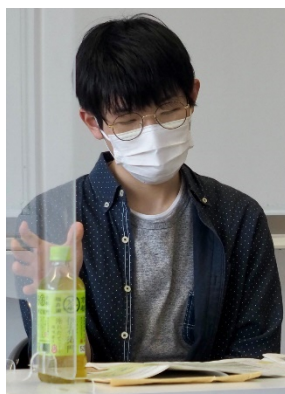
善してほしい。今年の大雪では、国道12号が二車線の広さから一車線の狭さになり、交通渋滞になっていた。街中の道路がデコボコで、外出を諦めて戻ったこともあった。

- ・先日、町村農場に行ったところ、生産した牛乳をチーズやヨーグルトに加工していた。加工や六次産業化に取り組みやすいまちだと知った。また、地域の方と遊びの会に参加した時、江別市が好き人が多いというイメージを持った。そのような人達と交流したら、もっと江別市が好きになるのではないかと思い、もっと交流したいと思った。除雪が弱みだという意見が多いが、道外出身で、初めて大雪を体験した自分にとっては、夜にあれほど道路に積もっていた雪が朝にはなくなっていて、すごいと思った。除雪も手伝うことがあれば手伝いたいと思った。JR大麻駅周辺はエレベーターが少なく、近くのスーパーマーケットに行くにも屋根のない歩道橋を渡らなければならないので、雪の時など、住んでいる人は大変だと思った。
- ・バランスが良いまちだと思う。住みやすく、買物も自宅の近くでできる。札幌市にも遊びに行きやすい。子育てをしやすく、保育園も最近増えている。産後ケア体制も整ってきている。弱みは、札幌市ありきになっていることや、自家用車がないと不便な地域があることなどだと思う。



## 2 将来にわたって、江別市に暮らしてもらうためには

- ・就職して間もない時、ひとり暮らしで給料も低い状況の時などは、家賃が低ければ住む場所の選択肢に入るのではないだろうか。もう一つは、知っていれば良さが伝わるまちだが、知られていないので、良さが伝わっていない。大学生が参加できる機会が増えると、江別市に興味を持ってくれる若者も増えるのではないか。
- ・若者が多く、にぎわいのあるところには、若者が好きそうなショッピングモールがある。活性化させるためには、カフェやショッピングモールを増やすことも効果があると思うが、増やし過ぎると江別市の持つ良い雰囲気とのバランスが悪くなるかもしれない。アクセスの良い所に、流行の店も増やしつつ、地域の魅力を生かした、にぎわいの場があると良いと思う。
- ・観光地として選ばれるのではなく、暮らしやすいまちとして選ばれるようにしたら良いと思う。そのためには、まちの知名度を高めたら良いのではないだろうか。暮らしやすさを市外に発信していく。各駅前の盛り上がりには差を感じる。市全体で均等に発展させ、魅力を高めていけば良いのではないか。



- ・各駅のにぎわいが足りないと感じる。JR野幌駅はコンパクトなまちづくりをしていて成功していると思うが、他は利便性が良くないと思う。JR江別駅の乗降者数は他の駅に比べて少ない。また、車で立ち寄れるスポットをインターネットで検索しても、表示されない。道の駅が市内に1か所でもあれば、スタンプラリーを目的として立ち寄る人の数も増えるのではないか。
- ・魅力は十分あると思う。住みやすいし、ゴミも出しやすい。魅力が気付かれにくいのではないか。「住みやすさ」はなかなか気付かれにくいと思う。北広島市は新球場ができることになって全国的に知名度が上がった。そのような例もあるので、何かをきっかけに知られるようになったら、知名度も一気に上がるのではないだろうか。
- ・大学が多く、卒業後市外に出ていく人が多いということは、関係人口を増やせる条件があるということではないか。自分は入学を機に江別市に住むようになり、江別市が第二の“ふるさと”のようになると思っているが、在学中、関わる場所が大学だけだと、戻って来る“ふるさと”の場が大学だけとなり、帰りづらくなるのはもったいないと感じている。最近、まちおこしボランティアで屋久島に行った時、関係人口を増やしたいと考えているゲストハウスの方や農家の方と、農作業を手伝いながら関わりを持つこ



とができて、楽しかった。江別市でも、いろいろな世代や業種の方々と関わる機会を増やし、良い関係を築く人が増えたら、江別市の魅力が広まるのではないだろうか。また、江別市は小麦が有名だと思うので、パン屋さんでスタンプラリーをすると良いのではないだろうか。



- ・観光の特化は難しいと感じているので、定住に特化するのはどうだろうか。アンケート調査で8割以上の方が、住み心地が良いと回答しており、住んでいる人は住み良さが分かっている。住み良さを市外に情報発信することが大事だと思う。また、学生が多く、良い人材もいると思うが、市外に出て行くことも多いと思う。良い人材からアイデアをもらえるように、市内の企業を学生にどんどん紹介することが良いのではないだろうか。
- ・選ばれるまちは、いろいろな人が転入したいと思うまちであると考え、最初にホームページを見ると、江別市のホームページは情報が羅列されていて、見やすさに欠けると感じる。子育てのまちと言われる、千葉県松戸市のホームページは色使いも良く、もっと見たいと思えるようなものだった。見やすく調べやすい、魅力的なホームページにすると、興味を持ってもらえるのではないだろうか。
- ・観光地と、住むまちの二つの視点があるが、住みやすさは十分あると思う。除雪も、他の道内の豪雪地域に比べたら、行き届いている方だと思う。住みやすさは知られにくい。住んでみて「ああ、住みやすいな。」と分かる。先日、市内大学の「えべつ未来づくり学生コンペティション」で、情報を一つにまとめた、江別市専用のアプリ製作の提案をした。情報が分散しているイメージがあるので、改善してはどうだろうか。市民が利用しやすいものをつくって、さらに市外に発信すると良いのではないか。観光地の面で考えると、道外から、江別市を目指して来る人も、車で直接来る人も少ない。駅周辺が発展しているところに行くと思う。そのほか、ドラマのロケ地、漫画の聖地など何か一つコンテンツがあれば、江別市を目指して来る人が増えるのではないかと思う。

### 3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について



- ・働きたい人が働ける環境をつくる。市の持つ施設をサテライトオフィスとして提供するなど、多様な働き方ができる環境づくりを進めてはどうだろうか。経済的なゆとりができると、出生率も上がるのではないだろうか。
- ・人口を増加させるには、子育てと仕事の両立が大切だと思う。女性が働きやすい、産後、仕事に復帰しやすい、男性も休暇を取りやすいなどの情報が、大学生にも伝わりやすくなれば良いのではないか。教育面では、外国語教育に力を入れているなど、特色があると、子育て世代の転入が増えるのではないだろうか。そのほか、バリアフリー化の推進や、障がい児も住みやすいまちづくりなども、さらに進めていくことが大事だと思う。
- ・子育て、教育、都市基盤に力を入れるべきだと思う。人口減少の中でも、子育てしやすい環境だと人口減少を抑制できるのではないだろうか。また、市内の中心部と郊外のアクセスを改善し、まち全体の住み良さを高めていくことが大事だと思う。
- ・パートナーシップ宣誓制度の導入を機に、江別市に引っ越そうという人が増えるかもしれない。また、江別市内で働きたいと思う人が市内で就業できるようにしてほしい。自分も、仕事を江別市内で探しているが、苦戦している。調べやすい市内の就職情報や、市内での就職先がもっと増えたら良いと思う。子どもを産める産婦人科が少ない。増えると、健診に行く人も増えて、産みやすい環境になるのではないだろうか。
- ・教育、文化に力を入れるべきだと思う。子どもに何をさせたいかを考えた時、「それならば江別市だね」と言われるようになれば良いと思う。将棋やeスポーツなど、子どもにスキルを積みせることができるようにする。その道に進むならば、江別市は力を入れているというものがあれば、江別市に引っ越してくる世帯も増えるのではないだろうか。

・就職先も重要だと思うが、子育て、教育、自然環境が良いことなどが大事だと思う。道外から来て、身近に豊かな自然があって、良いと感じている。今、子どもを育てる中で、非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力）が注目されているが、非認知能力を高めるには、自然を使った教育が、効果があると聞いている。教科書を読むだけではなく、自然を生かした子どもの教育に力を入れるべきだと思う。公園は、子どもが体を動かす場としても大事な場所であり、多世代の交流の場でもある。江別市には公園が多くあるので、今ある公園を生かせば良いのではないだろうか。



・子育て支援に力を入れる。合計特殊出生率が低いということは、産みにくい環境であることも一つの要因なのではないだろうか。また、子どもを産んだ母親の就業支援などを手厚くしてはどうだろうか。そのほか、若者に支えてもらうだけではなく、高齢者でも元気な方はいるので、市で高齢の方に仕事を提供していくことも大事だと思う。

・子育て支援、教育に力を入れるとともに、高齢者にも焦点を当てる。生涯学習や生涯スポーツ、生きがい活動の拠点など。スポーツ店でアルバイトをしているが、スポーツをしていて、元気で楽しそうな高齢者を見かける。江別市は自然豊かなスポーツ施設があるので、そのような場も活用しながら拠点をつくっていったらどうだろうか。

・人口が減少した時に、一人あたりの仕事の負担が増えて、余裕がなくなって、窮屈になるのではないだろうか。仕事の負担を減らしていくものが、デジタル化だと思う。江別市役所が先駆けとなって、デジタル化を進めることで、江別市の魅力の発信にもつながり、市外から来る人も増えるのではないかと思う。大学で生涯学習の重要性を学んでいるが、大人が学校を卒業した後も学べる場がもっとあると、さらに良い市になると思うので、生涯学習にも力を入れてほしい。

